

オプション対応一覧

ハンディ用 ※アクセサリは一般仕様もスペシャル仕様も共通です。

品名	バッテリーパック				電池ケース	充電器 & 充電スタンド			
品番	EBP-58N	EBP-57N	EBP-74	EBP-179	EDH-36	EDC-126	EDC-154	EDC-154A	EDC-197A
仕様	Li-ion 3.7V 600mAh	Ni-MH 1.2V 1800mAh x2	Li-ion 3.7V 1800mAh	Ni-MH 1.2V 1900mAh	単3乾電池 3本	EBP-58N 充電用	スぺア用スタンド	EDC-154と EDC-139のセット	EDC-197と EDC-139のセット
DJ-X11			本体に付属		本体に付属				
DJ-X81				本体に付属					本体に付属
DJ-X8		本体に付属					○	本体に付属	
DJ-X7	本体に付属					本体に付属			
本体価格(税別)	¥3,500	¥1,200	¥5,000	¥1,500	¥2,500	¥1,500	¥2,500	¥4,000	¥4,000

※価格は単価です。
2個必要です。

品名	急速充電器		カーコードイヤホン		耳かけイヤホン		ストレートコードイヤホン	
品番	EDC-174	EDC-174A	EME-25	EME-26	EME-50	EME-27	EME-6	EME-18
仕様	スぺア用スタンド	EDC-174と EDC-139のセット	プラグ 2.5mmφ ケーブル長 450mm	プラグ 3.5mmφ ケーブル長 650mm	プラグ 3.5mmφ ケーブル長 800mm	プラグ 2.5mmφ ケーブル長 500mm	プラグ 3.5mmφ ケーブル長 1000mm	プラグ 2.5mmφ ケーブル長 1000mm
DJ-X11	○	本体に付属						
DJ-X81								
DJ-X8								
DJ-X7			本体に付属			○(胸ポケット専用)		
本体価格(税別)	¥4,000	¥5,800	¥1,800	¥1,800	¥1,800	¥1,800	¥1,500	¥1,500

※本書に掲載の受信機のイヤホンジャックは全てモノラルです。ステレオ
(両耳用)イヤホン接続しても故障しませんが、片側しか聞こえません。

品名	シガーライターケーブル		外部 DC 電源	リモコン	AC アダプター	ソフトケース			
品番	EDH-32	EDH-33	DM-305MV	EDS-12	EDC-139	ESC-38	ESC-44	ESC-50	ESC-59
仕様	12V/24V 兼用	12V/24V 兼用	DC6V~15V(可変) 最大 5.0A						ヘルムリング付
DJ-X11		○	○※1	○	○			○	
DJ-X81		○	○※1	○	○			○	
DJ-X8		○	○※1	○	○			○	
DJ-X7	○		○※2	○	○			○	
本体価格(税別)	¥3,500	¥2,500	¥12,800	¥2,800	¥1,800	¥1,500	¥1,800	¥2,500	¥1,800

※1 接続には EDH-33 が必要です。
※2 接続には EDH-32 が必要です。

品名	アンテナ		ベルトクリップ		PC 接続ケーブル		
品番	EA-133	EA-154	EBC-23	EBC-28	DJ-X8 ベルトクリップ	ERW-7	ERW-8
仕様	アンテナ長 110mm	アンテナ長 230mm	ループ型・ネジ付	ネジ付	ネジ付	USB ポート ※3	USB ポート ※3
DJ-X11		本体に付属	本体に付属			○	○
DJ-X81		本体に付属		本体に付属		○	○
DJ-X8		本体に付属			本体に付属	○	○
DJ-X7	本体に付属					○	○
本体価格(税別)	¥1,500	¥3,000	¥1,000	¥200	¥500	¥4,500	¥4,500

デスクトップ用

品名	シガーライターケーブル	基地局用 DC ケーブル	セパレートキット	PC 接続ケーブル	外部 DC 電源
品番	EDC-36	EDC-37	EDS-17	ERW-7	DM-305MV
仕様	ノイズフィルター付	ヒューズ付	ケーブル長 5m ブラケット EBC-8 付	USB ポート ※3	DC6V~15V(可変) 最大 5.0A
DX-R8	○	本体に付属		○	○
本体価格(税別)	¥2,000	¥800	¥5,500	¥4,500	¥12,800

※3 VCP チップが内蔵された特殊なケーブルです。市販の USB ケーブルではありません。

※撮影・印刷の条件により、掲載製品の色調が実物と異なることがあります。※仕様は予告なしに変更する場合があります。
※本書で紹介したソフトウェアの一切の権利は提供元企業、作者等に帰属します。弊社ではそれらの動作について一切の保証や責任を負うことは致しかねます。

アルインコ株式会社

■電子事業部

- 東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4日本橋プラザビル14階 ☎03-3278-5888 (代表)
 - 名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19サンエイビル4階 ☎052-212-0541 (代表)
 - 大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9淀屋橋ダイヤビル13階 ☎06-7636-2361 (代表)
 - 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34エコービル2階 ☎092-473-8034 (代表)
- ※このカタログのご請求は、最寄りの販売店または上記営業所までお願い致します。
※このカタログに掲載の標準価格には取付費などは含まれておりません。

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

ホームページの URL <https://www.alinco.co.jp/>

●取扱い店

株式会社エクセリ
(代理店届出番号C1909977)
東京都中央区日本橋浜町2-30-1 / 大阪府大阪市中央区久太郎町1-9-5
お問い合わせ総合ダイヤル 03-3662-0551
URL: <https://www.exseli.com/>

ワイドバンド & デスクトップ
レシーバー
COMMUNICATIONS RECEIVERS

Ver.8.0.0J

- Handheld Receivers
- Desktop Receiver
- Accessories

Watch the world with
ALINCO



販売店・アフターサービス・FAQは...

アルインコ電子事業 で 検索

Alinco.com ▶ 日本語

X11

ハンディを越えた、ポータブル・デスクトップレシーバー。



運用時間の目安

- FMシングルモード受信、AF10%歪時(1:4受信 BSモード) EDH-36(高性能単三アルカリ乾電池3本)&EBP-74 : とともに約35時間
- FMシングルモード、MAXボリュームで連続受信 EBP-74 : 約15時間

オールモード & 2波同時受信対応

メインバンドVFOで0.05~1300MHzを連続受信する他、サブバンドの受信周波数VHF:118~171MHz/UHF:336~470MHz(拡張サブバンド225~336MHz*)と合わせて2波同時受信を実現。メインバンドではAM/FM/WFM/SSB/CW、サブバンドはAM/FMモードに対応。
*サブバンドの225.000~335.995MHzは保証対象外の受信帯域です。高い周波数のはうが感度は良くなります。

数字キー操作時や入力した周波数、盗聴器発見を日本語で発声する音声ガイド

数字キーの操作時や、入力した周波数を「いち・よん・よん・てん・ぜろ・ぜろ・ぜろ」のように読み上げたり、盗聴器らしい信号を受信した時も日本語で発声します。

もはやハンディレシーバーの枠を越えた、固定機なみの高性能

- 内蔵バアンテナとイヤホンアンテナでAM/FM放送を実用的に受信。アンテナ端子(SMA)に外部アンテナを接続すれば短波帯の受信も楽しめます。
- 幅61×高さ106×奥行38mm、235gのコンパクト&軽量ボディ。EDS-12を接続すれば、基本的な機能のリモコン操作や音楽プレーヤーとの併用ができます。
- 大型ドットマトリクス液晶で、JIS第一水準の漢字全てを含む文字、記号や絵文字を表示(全角8、半角16文字)。照明はキーボード共、視認性抜群の明るさです。
- コーナープロテクター付きの頑丈なポリカーボネート製ボディ。キーボードにはタクスイッチを採用、確かなクリック感が高級機の証です。
- 大容量1800mAh Li-Ionバッテリーパック EBP-74とスタンド型急速充電器 EDC-174Aを標準装備。充電時間はスタンドで約4時間、付属充電器のアダプター(EDC-139)のみを使い、外部電源端子を使用して約6時間、もちろん縦置き充電が可能です。運用時間はMAXボリューム連続で約15時間を達成しました。
- 1200chのメモリと50ペアのプログラムスキャンメモリーを搭載、そのうち978ch、43ペアに人気の周波数を書き込み済み。バンクは初期状態で25(うち13バンクはカスタマイズ用)、メモリー編集ソフトを使えば最大50まで編集もできます。その他プリセットスキャンやサーチパス用にも別途メモリーチャンネルを多数設定しています。もちろん同時受信状態をまるごとメモリーするデュアルメモリーにも100チャンネルを割り当てました。
- 近くから出ている強力な信号に素早く同調するFチューンと周波数カウンター。従来の機能より精度をアップして、いっそう高性能になりました。周波数安定度は±約2.5ppmと、業務用無線機に匹敵する精度を実現しています。
- 選択受信にはDCS、TSQ、逆TSQ、MSK対応空線信号キャンセルを採用。盗聴器発見機能はサウンド・サイレント、さらに二つを連続動作させることもできます。
- チャンネルスコープ、選べるスキャンスピード、低域&高域をカットする音質調整、メインサブ独立RFゲイン、アッテネーター、外部電源6V対応など、レシーバーに求められる機能には徹底的にこだわった新設計のDJ-X11。パソコンとの接続機能も充実してハンディレシーバーの枠を越えた“ポータブル・デスクトップ”レシーバーと呼びたい一台です。

パソコンとの高い親和性

※PCへの接続やケーブルクローンには別売や市販のケーブルが必要です。
付属の充電スタンドとPCのUSBポートを別売の専用ケーブルERW-8で接続すれば、弊社がホームページで無償配布するDJ-X11の機能やメモリーチャンネルデータが編集できるクローンユーティリティソフトと、周波数やモードなどをPCのキーボードから変更できるリモートコントロールソフトがお使いになれるほか、SDRソフト「KG-SDR」もDJ-X11のコントロールをフルサポートしており、無償でお使いになります。そのほかV/UHF帯のKG-ソフトシリーズは全てDJ-X11にも対応しています。エアバンド仕様DJ-X11AはAMの受信音量を平均化するAGC回路を搭載するかわり、2波受信時のACARSデコード率は30%程度劣ります。

※KG-SDRは <http://www2.plala.or.jp/hikokibiyori/soft/index.html> からダウンロードできます。
※この機能については弊社では開発時に代表的なソフトで最低限の動作を確認しておりますが、このようなサードパーティ製ソフトは多岐に渡り、全てのソフトとDJ-X11の相性を検証することはできないほか、ユーザーの無線受信やパソコンに対する知識、使用されるパソコン自体の性能などの関係で弊社が無条件にこれらとの動作を保証することやサービスセンターでのサポートを行うことは致しかねますので、予めご了承ください。

仕様

- 周波数範囲【メイン】0.05~1299.9995MHz 【サブ】118~170.995MHz、336~469.995MHz (保証外拡張サブバンド/225~335.995MHz)
- 電波の型式:AM/SSB(USB/LSB)/CW(CU/CL)/FM/WFM ●アンテナインピーダンス:50Ω不平衡(SMA端子) ●電源電圧:4.5V(電池端子)、DC5.4V~6.0V(外部電源端子)、3.7V(Li-Ionバッテリーパック) ●消費電流/受信定格出力時 モノバンド/約130mA、デュアルバンド約180mA ●周波数安定度:±約2.5ppm ●寸法(突起物除く):横61×高さ106×奥行38mm ●重量:約235g(EBP-74、アンテナ含む) ●受信方式【メイン】: AM/SSB/CW/FMトリプルスーパーヘテロダイン WFM ダブルスーパーヘテロダイン【サブ】: AM/FMダブルスーパーヘテロダイン ●中間周波数【メイン】: AM/SSB/CW/FM 1st:243.95MHz 2nd:45.055MHz/WFM 10.7MHz 3rd :455kHz 【サブ】: AM/FM 1st 51.65MHz 2nd 450kHz ●選択度AM/FM-6dB/12kHz以上:-60dB/35kHz以下 SSB/CW-6dB/2kHz以上:-50dB/7.5kHz以下 WFM-6dB/180kHz±40kHz:-20dB/470kHz以下 ●使用温度範囲:-10℃~60℃ ●低周波出力:最大100mW以上(8Ω) ●受信感度(バンド内代表値:AM/SSB/CWは10dB S/N、FM/WFMは12dB SINAD測定値)【メイン】0.050~0.531MHz(AM): 5dBμ/0.531~1.62MHz(AM): 2dBμ/1.62~76MHz(AM): -5dBμ/1.62~76MHz(SSB,CW):-10dBμ/1.62~76MHz(FM):-15dBμ/76~108MHz(WFM):-3dBμ/108~136MHz(AM):-6dBμ/136~174MHz(FM):-14dBμ/175~221.75MHz(WFM):-6dBμ/221.8~336MHz(AM): 0dBμ/336~475.75MHz(FM):-13dBμ/475.75~770MHz(WFM):-13dBμ/770~1260MHz(FM):-9dBμ/1260~1300MHz(FM):-6dBμ【サブ】118~136MHz(AM):-3dBμ/136~170MHz(FM):-14dBμ/336~470MHz(FM):-14dBμ

0.05MHz~1,300MHz ALL MODE PORTABLE DESKTOP RECEIVER

DJ-X11

本体価格(税別)¥54,800

JANコード: 4969182350234

エアバンド仕様 DJ-X11A / JANコード: 4969182350340



周波数データリスト、ホイップアンテナ(SMA) EA-154、リチウムイオンバッテリーパック 1800mAh EBP-74、フリーヘルムクリップ EBC-23、充電スタンド & アダプターセット EDC-174A、乾電池ケース EDH-36、ハンドストラップ

FM	WFM	AM	SSB	CW	I/Q	Preset A F M	Preset 978ch	Memory 1200ch
Program 50ch	S.Pass 100ch	PC	音質	BUG	123456			

*①エアバンド仕様は1196ch *②JR/私鉄対応 *③TSQ/逆TSQ/DCS対応

*④漢字・英数字記号・絵文字対応

充電時間

- 約4時間(EDC-174A 使用時)
- 約6時間(付属のアダプターEDC-139のみを使い、外部電源端子を使用時)

X81

ワンセグTV音声と緊急警報システム(EWS+EEW)受信対応!



運用時間の目安

- FMシングルモード受信、定格: EBP-179: 約19時間/アルカリ乾電池: 約13時間
- FMシングルモード、MAXボリュームで連続受信: EBP-179、アルカリ乾電池: とともに約9時間
- ワンセグTV音声、MAXボリュームで連続受信: EBP-179、アルカリ乾電池: とともに約9時間
- 電源オフ状態でEWS/EEW待ち受け可能時間: EBP-179の満充電状態で約40時間
- *定格=NFM受信1待ち受け4、BS800mS、EWS機能オフ/地デジ連続定格=連続受信 50mW出力時

充電時間

- 約10時間 EDC-197AにてEBP-179 2本を満充電するのに掛かる時間

AM/FM/WFMモードに加えてワンセグTVの音声を受信

0.1MHz~1299.995MHz、長波帯(LF)から極超短波帯(UHF)までAM、FM、WFMの各モードでカバー。中波AM放送、短波放送からFM放送、またアマチュア無線、航空無線、各種業務無線など、さまざまなアナログのユーティリティ通信が受信できます。加えて、ハンディレシーバーとしては初めてワンセグTVの音声受信を実現しました。
※一部の周波数はブロックされています。下記の仕様をご覧ください。

EWS/EEW 緊急放送に対応

緊急警報放送や緊急地震速報を受信すると、自動的にそのFMラジオ放送に移動。電源をオフにしているも自動起動するバックグラウンド受信も選択できます。

ダイヤルは上級機並のツインタイプ

音量と周波数切り替えが手軽にできる、ツインタイプのエンコーダーを採用しました。

プリセットモードには放送に加えて国際VHFマリンチャンネルを追加

国際VHFマリンチャンネル全てをプリセットモードにメモリー。海岸局と船舶のワンタッチ切り替え、16chへの復帰条件の設定など「マリンバンダー」の受信をマニュアルにサポートします。

簡単な操作だけで状態が戻せる「レストア機能」

セットモード等の設定状態を1つ記憶、リセットや設定変更した後でも簡単な操作でその状態に戻せます。

便利なクイックメモリーバンクと大容量のメモリー

従来のサーチパスバンク、メモリーバンクから独立して、各200chの「クイックメモリーバンク」を搭載、ワンタッチでノイズ信号をスキャンから飛ばしたり、見つけた信号を仮メモリー。それらを従来のバンクに移動させるのも簡単です。1000chのメモリー、50ペアのプログラムスキャン、100chのサーチパスとメモリー容量は十分。バンクは編集ソフトを使えば最大50まで自由に切り分けできます。

スピーディな選局を実現する多彩なスキャン

VFOスキャン、メモリースキャン、プログラムスキャンなどの自動選局機能を多彩に装備。スピードはセットモードで5段階から選択できるなど、条件も細かく設定できます。さらにプログラムスキャンの条件もメモリー可能で、例えば同じ帯域をサーチさせるのに、ペア1はAMで25kHzステップ、ペア2はFMで50kHzステップ、のようにすばやくサーチできます。

サウンド&サイレント、選べる簡易盗聴器発見モード

アルインコが特許を持つ、ハウリング検知と音波発信式、2種類の盗聴器発見機能を搭載。使用頻度が高いとされている周波数はメモリー済みで、簡単に精度の高い簡易盗聴器探知ができます。

逆トーンにも対応したトーンスケルチ、DCSと可変式空線信号キャンセラー

選択式の通信を快適に受信するため逆トーン対応トーンスケルチ、DCSと空線信号キャンセラーを装備しました。空線信号キャンセラーは可変式で鉄道とMCA両方に対応します。

ビギナーにもエキスパートにも使いやすいDJ-X81

買ってすぐ使えるオールインワンパッケージ。MW/SW受信対応のバアンテナ内蔵、スキャン中のキーロック、バンクが変わったとき判別しやすいレミ音ビープ、操作キーをUP/DOWNキーとして割り当て可能。また、2段階のセットモードを採用して、しばしば変更する基本の設定は素早くアクセス、めったに変えない上級向け設定はエキスパートモードで行うようにして、誰にでも使いやすい操作性を実現しました。

仕様

- 周波数範囲: 0.100 ~ 252.895MHz / 255.100 ~ 261.895MHz / 266.100 ~ 270.895MHz / 275.100 ~ 379.895MHz / 382.100 ~ 411.895MHz / 415.100 ~ 809.895MHz / 834.100 ~ 859.895MHz / 889.100 ~ 914.895MHz / 960.100 ~ 1299.995MHz
- 電波の型式: A3(AM)、F3(FM,WFM) ●アンテナインピーダンス: 50Ω不平衡(SMA端子) ●電源電圧: DC2.4~3.0V(電池端子)、DC5.4V~6.0V(外部電源端子) ●消費電流(DC IN 6V時): 受信定格出力時: 約155mA / 受信待ち受け時: 約110mA / バッテリーセーブ時: 約70mA / 最大(1Seg受信時最大音量) ●約120mA / EWS受信待ち受け時: 約30mA ●周波数安定度: ±2.5ppm
- 寸法(突起物除く): 横58×高さ96×奥行31mm ●重量: 約210g(EBP-179、アンテナ含む) ●使用温度範囲: -10℃~60℃
- 低周波出力: 最大100mW以上(8Ω) ●受信方式: [NFM/AM]トリプルスーパーヘテロダイン [WFM]ダブルスーパーヘテロダイン
- 中間周波数 1st: 243.95MHz/2nd: 39.15MHz(NFM/AM)、10.7MHz(WFM)/3rd: 450kHz(NFM/AM)
- 受信感度(代表値): FM: 30~470MHz:-15dBμ(0.17μV)以下 /470MHz以上:-7dBμ(0.45μV)以下 12dB SINAD / WFM: 76~470MHz:-6dBμ(0.5μV)以下 /470MHz以上:-3dBμ(0.7μV)以下 12dB SINAD / AM: 0.1~50MHz:-1dBμ(0.89μV)以下 /50MHz以上:-6dBμ(0.5μV)以下 10dB/S/N

0.1MHz~1,300MHz* AM/FM/WFM+1Seg / EWS RECEIVER

DJ-X81

本体価格(税別)¥36,800

JANコード: 4969182350296

エアバンド仕様 DJ-X81A / JANコード: 4969182350333



アンテナ EA-154、ヘルムクリップ EBC-28、ニッケル水素充電電池 EBP-179×2、スタンド型充電器セット EDC-197A、ハンドストラップ

1Seg TVの 音声	FM	WFM	AM	1Seg	Preset A F M	Preset 948ch	Memory 1000ch
Program 50ch	S.Pass 100ch	Q.Memory 200ch	Q.Pass 200ch				

*①エアバンド仕様は1000ch *②JR/私鉄対応 *③TSQ/逆TSQ対応 *④アルファベット・記号のみ

※TV音声やEWS/EEWの受信には、事前に受信する地域や放送局の設定が必要です。

X8

運用時間の目安 約20時間/EBP-57N(1:4BSモード時) 充電時間 約10時間

キーレス派? キーボード派?...それともDJ-X8?

■ セレクトابل・キーボード・システム搭載、リモートコントローラー対応

周波数入力や機能への直接アクセスなど、慣れると使いやすいキーボード操作。決まった操作でいつもの周波数をモニターするにはボタンの少ないシンプルタイプ。用途や好みによって使いやすさは人それぞれですが、DJ-X8 なら取り外しの可能なキーボードを搭載しているので好みの受信スタイルに合わせることが出来ます。さらにオプションのリモートコントローラー&イヤホンを使えば手元で音量やバンド切り替え、スキキャンなど多彩な操作が行え、受信機を手を持って直接操作できないシーンでもワッチが可能になる上、メディアプレイヤーをつないで音楽を聴きながら信号を受けた時だけ DJ-X8 の音声に自動的に切り替えることも出来ます。

■ 広い帯域を3モード(AM/FM/WFM)で高感度受信、受信信号の録音も可能

0.1MHz~1299.995MHz、長波帯(LF)から極超短波帯(UHF)まで AM、FM、WFM の各モードでカバーし、多くの放送や通信が受信できます。小型なボディながらパーアンテナを内蔵、高性能ホイップアンテナと合わせてハンディ受信機では苦手だったAMやSWの放送受信も実用性充分。もちろん市販の外部アンテナをつないで広範囲の電波をキャッチすることや、別売イヤホンをアンテナにして通勤・通学ラジオ感覚で使うことも出来ます。さらに最長17分までの受信信号の録音が可能になり、気になる情報を簡単にメモできます。

■ 放送周波数・聞きたいチャンネル 966ch・43 プログラムスキキャンはメモリー済み

放送周波数帯(中波 AM 放送 / FM 放送)をあらかじめ設定したプリセットモードを搭載、ラジオ感覚で手軽に放送受信が楽しめます。また、各種の通信周波数帯をジャンル別に10バンクに分け、そのうち9バンク 966チャンネル分とプログラムスキキャンの50ペアメモリー中43ペアには人気の周波数をメモリー済みですから、すぐに受信が楽しめます。もちろん全てのチャンネルは編集が可能です。

■ バンクフリー設計の1000チャンネルメモリーとPC編集機能

最大1000チャンネルのメモリーをバンクに分け、ジャンルごとに整理して効率的に記憶できます。しかも、オプションのPC接続ケーブルと無償エディターソフトを使えばバンクサイズの変更やメモリー、機能の編集など多彩な設定操作をパソコンのキーボードを使って行え、そのデータを保存することが可能になります。

■ スピーディな選局を実現する多彩なスキキャン機能

5段階から選べるスキキャンスピード、1秒~25秒連続可変タイマー&ビジネススキキャンモード切り替え、トーン信号判定、不要なチャンネルを飛ばせるスキップ&サーチパスなど多彩なモードを備えたスキキャン機能が充実しています。さらにVFOモードは全受信帯域が14にバンド化されており、容易に移動ができます。

■ 簡単、スピーディに発見! Sound&Silent、2つの簡易盗聴器発見機能

ハウリング検知と音波発信式、2種類の盗聴器発見機能を搭載しているのもDJ-X8の魅力。使用頻度が高いとされている周波数はDJ-X8のファームウェアに記憶済みで、簡単な操作で精度の高い簡易盗聴器探知ができます。

■ 周波数可変式空線信号キャンセラーと逆トーン対応トーンスケルチ受信機能

通話がない時に送信される耳障りな発信音をカットして快適に受信する周波数可変式空線信号キャンセラーと、トーンスケルチを使用している通話を快適に受信するために逆トーン対応トーンスケルチを装備、待ち受け受信もおまかせです。

■ 高い基本性能と充実の機能群が嬉しいDJ-X8

●58W×99H×32Dmm(突起物除く)、電池とアンテナを含んで約220gの使いやすいコンパクトボディ ●中継通信の受信に便利な周波数シフト機能 ●自動設定と16段階のチャンネルステップ ●強すぎる電波を減衰させ快適に受信できるATT(アッテネーター) ●多彩なビープ音設定 ●モニター&ミュート機能 ●キーロック ●APO(オートパワーオフ)機能 ●バッテリーセーブ ●6桁アルファニューメリック表示が可能なバックライト内蔵大型ディスプレイ ●バッテリー残量警告表示 ●よく使うセットモードの項目一つを自由に割り当てられるワイルドキー ●短波放送受信時、パーアンテナ同調点を可変出来る短波チューニング機能 ●買ってすぐ使えるフル・アクセサリ・パッケージ。

仕様

●周波数範囲: 0.100~1299.995MHz ●電波の型式: A3(AM)、F3 (FM,WFM) ●アンテナインピーダンス: 50Ω不平衡(SMA端子) ●電源電圧: DC2.4~3.0V(電池端子)、DC5.4V~6.0V(外部電源端子) ●消費電流: 受信定格出力時 約140mA、待ち受け時 約80mA(BS時 約26mA) ●周波数安定度: -7~+3ppm ●寸法(突起物除く): 横 58×高さ 99×奥行き 32mm ●重量: 約220g(EBP-57N、アンテナ含む) ●受信方式: [NFM/AM] トリプルスーパーヘテロダイン [WFM] ダブルスーパーヘテロダイン ●中間周波数 1st: 243.95MHz / 2nd: 39.15MHz(NFM/AM)、10.7MHz(WFM) / 3rd: 450kHz(NFM/AM) ●受信感度(代表値): FM: 30~470MHz: -15dBμ(0.17μV)以下、470MHz以上: -7dBμ(0.45μV)以下 12dB SINAD WFM: 76~470MHz: -6dBμ(0.5μV)以下、470MHz以上: -3dBμ(0.7μV)以下 12dB SINAD AM: 0.1~50MHz: -1dBμ(0.89μV)以下、50MHz以上: -6dBμ(0.5μV)以下 10dB S/N ●使用温度範囲: -10℃~60℃ ●低周波出力: 最大100mW以上(8Ω)

0.1MHz~1,300MHz SELECTABLE KEYBOARD SYSTEM RECEIVER

DJ-X8

本体価格(税別)¥29,800

JANコード: 4969182350159

エアバンド仕様 DJ-X8A / JANコード: 4969182350289



周波数データリスト、ニッケル水素バッテリーパック EBP-57N、ACアダプター EDC-139、ホイップアンテナ(SMA)、充電スタンド EDC-154、キーカバー、ヘルメットクリップ、ストラップ、ラバーシート、ネジ(クリップ用1、キーカバー用スベア2)



*①エアバンド仕様は1000ch *②JR/私鉄対応 *③TSQ/逆TSQ対応
*④アルファベット・記号のみ *⑤受信信号の録音のみに対応

R8

SDRやデータ通信のデブボードも...
本格派のデスクトッププレジダー!

【ご注意】DX-R8はVHF/UHF帯の受信機ではありません。
船舶や航空無線は短波で行われる通信しか受信できません。

●0.15~35MHzをSSB(U/L)/CW(U/L)/AM/FMモードで受信。長波のNDB航空標識信号やAM放送、中波のラジオ放送・海上交通放送・NAVTEX(船舶向け文字データ安全情報放送)、短波のアマチュア無線・海外放送・船舶・航空無線・気象FAXや航空機データ通信のデコード・海岸局や海上保安庁の通信といった、V/UHFでは聞くことができない多彩な受信を楽しむことができます。さらにIQ信号と検波信号の出力ポートをリアパネルに装備しており、フリーウェアのSDRソフトを使えばフィルタ帯域を調整してノイズや混信を避け、さらに受信中の帯域周辺を録音して後から受信し直ようなハイレベルのワッチが可能になります。本機だけでもSDRの受信ユニットとしても使えるハイブリッドレシーバー、それがDX-R8です。

- デュアルVFO搭載、ワンタッチで2波を切り替えて交互にワッチできます。
- フロントセパレーション式のパネル(横240×高さ94×奥行き45mm)を採用、スピーカーやイヤホンジャックはフロント側に搭載しているので延長ケーブルEDS-17(5m)を装着するだけの手軽さです。約4.1kgとコンパクトで下部に折りたたみ式スタンドが標準付属、市販の吊り手やモービルブラケットが使えるビス穴も付いており、ノイズの少ない郊外へ出向いての移動ワッチやモービル受信時のフットワークも軽快になります。
- 7桁英数記号表示が可能な600chメモリー(200ch×3バンク)と、モード毎に設定可能な周波数ステップを採用しました。
- ±1ppmの周波数安定度、オーディオ出力2W、優れた選択度と受信感度、IFシフトとRIT機能など、通信型受信機を超える性能を持ちながら、リーズナブルな価格を実現しました。
- VFO、メモリー、プライオリティ、2ペアのプログラムと、多彩なスキキャンモード。タイムモードは設定した時間でスキキャン再開するためスケルチ解放でも動作、データ信号の周波数をメモリータイムスキキャンで巡回受信させるような使い方ができるように工夫しています。
- ナローSSB(1.0kHz)/CWオーディオフィルター(500Hz)、スケルチ、RFゲイン調整、ミュート端子、ダイヤルロックとキーロック、RXランプ、オートパワーオフ、スリープタイマー etc... 快適なリスニングに欠かせない機能も多彩に装備しました。



仕様

- 周波数範囲: 150kHz~3499999MHz (30~149kHzは表示しますが定格外で、実用動作の保証は致しかねます。)
- メモリーチャンネル数: 600ch(3バンク×200ch)
- 電波の型式: J3E(LSB/USB), A3E(AM), F3E(FM), A1A(CW)
- 電源電圧: DC13.8V±15%(11.7~15.8V) ●接地方式: マイナス接地 ●消費電流: 約1.0A max(待ち受け時 約0.7A)
- 周波数安定度: ±1ppm ●寸法: 横240×高さ94×奥行き255mm(突起物含まず) ●重量: 約4.1kg ●動作保証温度: -10℃~+60℃
- 受信方式: ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン ●中間周波数: 1st: 71.75MHz, 2nd: 455kHz
- 受信感度: (下記は記載の帯域内における代表的な数値であって、全帯域を保証するものではありません。)
- SSB/CW(S/N 10dB): 0.15~1.8MHz 0dBuV(1uV) / 1.8MHz~30MHz -12dBuV(0.25uV)
- AM(1kHz, 30%変調): 0.15~1.8MHz 20dBuV(10uV) / 1.8MHz~30MHz 6dBuV(2uV)
- FM(12dB SINAD): 28~30MHz -6dBuV(0.25uV)
- 選択度: SSB/CW/AM: 2.4kHz(-6dB) / 4.7kHz(-60dB)
- FM: 8kHz(-6dB) / 30kHz(-50dB)
- 低周波出力: 2W以上(8Ω負荷 10% THD) ●低周波インピーダンス: 8Ω ●RIT範囲: ±1.2kHz ●アンテナインピーダンス: 50Ω

150kHz ~ 35MHz ALL MODE DESKTOP RECEIVER

DX-R8

本体価格(税別)¥56,953

JANコード: 4969182350241



【標準付属品】

DCケーブル(EDC-37)

本製品に電源は付属していません。弊社製DM-305MVのような別売の安定化電源(3A級以上)が必要です。



オプションアクセサリであるEDS-17を使ったフロントパネルセパレーションとDM-305MV安定化電源。

※PCへの接続やケーブルクローンには別売のケーブルが必要となります。

機能マーク一覧表

FM 業務無線をはじめ代表的な無線通信に使われています。	Preset 900ch 書き込みメモリチャンネル聴きたい周波数、調べなくても安心。あらかじめメモリしています。
WFM 主に FM 音楽放送に使われているモードです。	Memory 1000ch メモリチャンネル搭載。メモリチャンネルの総数を増やせます。
AM 中波 / 短波放送、航空無線などが受信できます。	Program 20ch サーチプログラムスキャン(サーチ)サーチ範囲をあらかじめ記憶できるメモリベアの数です。
SSB アマチュア無線や短波帯の業務通信に使われています。	Preset A F M M プリセットモード。放送やマリノバンドなどをラジオ感覚で簡単に受信できます。
CW モールス通信です。アマチュア無線の受信に対応します。	S.Pass 100ch サーチパスメモリ。VFO スキャン時にじゃまになるノイズや放送をスキップするメモリです。
I/Q I/Q 信号出力。SDR 受信用に I/Q 信号が出力できます。	Q.Memory 200ch クイックメモリ。見つけた気になるチャンネルを簡単にメモリにできます。
1Seg 地上デジタル TV のワンセグ放送音声を受信できます。	Q.Pass 200ch クイックパスメモリ。スキャン中、じゃまなチャンネルを登録して、スキップさせるためのメモリです。

PC 検波信号出力。PC と接続して、データ通信などの高度な受信が可能になります。	クローン & 編集ソフト対応 同じ受信機間で、メモリや設定のデータをそっくり上書きできます。
サウンド盗聴器発見 盗聴器までの大きな方向や距離も表示できる、音波を使った方式です。	チャンネルスコープ 受信チャンネルに加えて、他のチャンネルの信号も一目で確認できます。
サイレント盗聴器発見 盗聴器の電波かどうかを識別して反応します。	漢字対応液晶表示 英数字・記号の他、JIS 第一水準の漢字すべてを表示します。
空線信号キャンセラー 鉄道無線独特のノイズを消して静かな待ち受け受信を約束します。	メモリネーム メモリ-CH にカナ・アルファベット・記号を表示できます。
選択受信 (TSQ/逆TSQ/DCS) このシステムを使った通信で、聞きたくない周波数を識別して受信できます。	周波数カウンター ±0.25ppm の精度で周波数を測定できます。(測定器としては使えません)
リモートコントローラー メディアプレイヤー感覚で操作できるリモコンが使えます。	F チューン(高速同調機能) 非常に強い電波があれば、通常のスキャンよりも早くその周波数に同調します。
2 波同時受信 メイン&サブバンドで異なる周波数を受信できます。	F チューン(高速同調機能) 非常に強い電波があれば、通常のスキャンよりも早くその周波数に同調します。

セレクトラブルキーボード 操作用のキーボードは取り外しても使えます	プライオリティ 2 つの周波数を交互に繰り返し受信できます。
録音機能 受信音やメモ代わりに音声や IC チップに録音 / 再生できます。	ATT (RF ゲイン) 強すぎる電波を減衰させ、混信や歪みを抑えた聞きやすい信号にします。
デュアル VFO VFO を 2 つ搭載。周波数を手軽に入れ替えて受信できます。	

エアバンドスペシャル、鉄道スペシャルについて

アルインコのハンディレシーバー全機種に、メモリチャンネルをエアバンド関連、鉄道関連の周波数に特化して書き込んだスペシャルモデルがございます。ご購入の際、販売店にご指定ください。価格は共通です。

上手に機能を使いこなして、発見いろいろ! — ハンディレシーバー編

AM ラジオから短波放送、FM までの放送をフルカバー。

電波が強く、どこでも聞こえる放送。プリセットモード対応機種なら、放送周波数だけをバンド設定してあるのでラジオ感覚で操作可能。すべての機種にはパーアンテナが内蔵されておりAM放送も実用的に受信できます。さらに DJ-X11/X8/X81 ではスクランナーの苦手なSWバンドの受信性能も従来機より向上させました。

★ワンポイント★
中波や短波放送受信にはワイヤーアンテナを! 低い周波数の電波が聞こえにくいのは、実はアンテナのせい。中波や短波放送などを聴くには市販の外部アンテナを使いましょう。ペラペラでも立てられる小型でリースナップルなものがアンテナメーカーから発売されています。又、地下鉄の通信で使われる低い周波数の電波はなるべく車内の窓際で受信すると効果的です。

相手は小さく意外なところに。でも安心、簡単に盗聴器発見!

プライバシーを密かに狙っている盗聴器。目で見えて発見するのは容易ではありません。アルインコのワイドバンドレシーバーは、すべての機種に盗聴器発見機能が内蔵されており、市販レベルの簡易盗聴器なら簡単な操作で発見できます。

★ワンポイント★
アルインコの盗聴器発見機能とは? DJ-X11/X8/X81 はハウリング検知と音波方式の盗聴器発見機能を内蔵しています。ハウリング検知方式は周囲の音を実際に聞きながら、音波方式は受信機から音を出しながら盗聴器を探します。どちらも音声信号の特徴をもとに怪しい電波を探すので精度の高い探知が可能です。DJ-X11 では音波方式の他、電界強度計や F チューンなど、電波の強さを利用した盗聴器探知も可能です。

★ワンポイント★
盗聴器について コンセント型、電話のモジュラージャック型、さらに超小型でおもちゃやぬいぐるみなどに隠されている物、電卓やペンに似せた物などさまざまな形があります。方式によっては電線や電話線に直結されている場合がありますが、そのような場合は電力会社や電話局にご相談ください。許可無く配電盤などに手を触れると危険ですし、違法行為となります。レシーバーで発見できるのは電波でAM/FM 音声を飛ばすタイプのみで、その他の盗聴器の発見にはレシーバー以外の機器とノウハウが必要です。

災害や事故情報も聞こえる業務通信!

警察や消防・救急、高速道路、ガス、水道などライフライン系の無線は多くがデジタル化して聞こえなくなっています。それでも大規模な災害時はあらゆるアナログ無線が状況や復旧の連絡をするので防災ラジオとしても使えます。特定小電力無線は消防団の連絡通信に多用されており、消防救急や報道機関のヘリコプターは連絡の一部に航空無線を使うので、重要なニュースソースになります。

鉄道、路線バス…リアルタイム交通情報を素早くゲット!

JR やタクシーの無線はデジタル化が進んでいますが、私鉄やバスなどまだ受信できる乗り物の無線は残っています。列車は頻繁に運行状況を基地局と交信しますが、その通信は運転士や車掌が受けている指示・連絡そのものです。また、バスは業務に必要な色々な情報を交換して、その内容は事故処理の復旧や渋滞の状況など、役に立つものがあります。

★ワンポイント★
空線信号キャンセラーって? 鉄道無線で、何も通話が無いときでもビーやギャラギャラというような耳障りな電波を流しっぱなしにしている信号があります。このノイズを消すのが空線信号キャンセラー。アルインコのハンディレシーバーは全て JR のビー音の他、私鉄で使われるギャラギャラ音にも効果のある可変式キャンセラーを搭載しています。

※JRの鉄道無線は首都圏や新幹線を中心にデジタル化が進み、受信できない路線があります。タクシーやバスもGPSを使うデジタル通信システムの導入が進んでいます。

★ワンポイント★
トーンスケルチって? 業務通信では同一周波数が複数の使用者に割り当てられますから、選択通信機能を採用して混信を避けています。特定小電力、各種業務など多様な通信で使われるトーンスケルチは代表的な選択通話機能の一つで、快適な待ち受け受信(狙った電波だけを受信)に欠かせません。アルインコなら全ての機種に逆トーン対応トーンスケルチを搭載、さらに DJ-X11/X81 は DCS 方式の選択通信にも対応します。

空港近くなら、温度、気圧、風向、風速など気象情報がバッチリ! 航空マニアにも受信機は必需品!

管制塔からは空港周辺の最新気象情報が離着陸する航空機に放送されています。雲量や雲高、視程などテレビや新聞では得られない詳しい情報が得られ、電波は強力ですから空港からある程度離れていても受信できる身近な航空無線です。機体の撮影を趣味にする航空マニアには、飛行機の運航状況がパイロットと同じレベルで分かる航空無線の傍受は今や常識で、さらに ACARS (エーカーズ) という航空機と地上間の無線データ通信のやりとりを受信機で受けて、パソコンで文字表示をさせたり、地図ソフト上で飛行機の位置表示をさせることもマニアの間で大人気、こまめくると気分は航空管制官です。

電波の世界を探検しよう、情報を集めよう。

大きな事件や事故が起きたら、先を争って現場へ向かうマスコミ。そこからのやり取りは現場の緊迫感が伝わってきます。真っ先に取材用のヘリが飛び、続いて取材車やTV 中継車と順番を追って受信する周波数を変えていけるようになったら、あなたはもうプロのウォッチャー?! また様々なイベントでワイヤレスマイクやトランシーバーが大活躍。シアターではリハーサルや打ち合わせの様子、スポーツ現場ではコーチとプレーヤーの会話が開けたりするチャンスも。色々な通信が聞こえるワイドバンド・レシーバー、活用しない手はありません。書店では広帯域受信の手引きや周波数帳、航空無線用語の解説ガイドブックが入手できますし、インターネット上にはもっとマニアックな電波や受信に関する情報もあふれています。

※2022 年までに簡易業務無線などはデジタル化され、受信ができなくなります。

長波、中波、そして短波。たかだか 30MHz ほどの帯域でも大きく違うその性質とは?

UHF で430MHz と460MHz、といえば同じ周波数帯で電波伝搬にも何ら変わりはありませんが、下のバンドでは大違い。僅か30MHz そこの帯域でも、DX-R8 レシーバーで受信できる長波、中波、短波では、聞こえる場所は時間や季節によって大きく変わります。

• **長波** 30~300kHz までの帯域を長波 (Long Wave) と呼び、地表を這うように伝わる性質があります。潜水艦との通信や地下鉄の漏洩ケーブル通信システムといった特殊用途の他、電波時計の校正、航空標識のビーコン電波、そしてロシアや欧州の高緯度地域には一般向けの放送があります。夜間にはこれらの一部が受信できますが、遠距離の信号を良い状態で受信するにはアンテナに工夫が必要になります。

• **中波** 300~3,000kHz までが中波 (Medium Wave) とよばれ、AM 放送でおなじみのバンドです。他には船舶向けの安全情報・路側帯放送や航空無線標識、一般のAM 放送バンドでは空電ノイズが多いことから赤道周辺地域に割り当てられた 2300~2495kHz AM 放送の信号が日本でも聞こえます。昼間は数十キロの見通し距離、夜間には100km 単位の遠方が聞こえます。

• **短波** 3,000~30,000kHz までが短波 (Short Wave) で遠距離の信号受信といえば短波、というイメージがあるほどです。放送だけでなく、船舶・航空の航行管制、漁業用無線や海岸局、標準電波、アマチュア無線、CB 無線、業務連絡無線などの音声からファックス、テレタイプ、航空機の位置情報といったデータによる画像や文字通信も行われています。バンドによって10MHz 以下が夜、10~15MHz が時間によって地域は変わりますがほぼ一日中、15MHz 以上は昼を中心に遠距離が聞こえます。季節や時間、太陽黒点活動の状態などが受信状態に影響を与えやすいバンドです。

★ワンポイント★
アンテナが最重要!
快適受信にアンテナが重要になるのはハンディ機以上、かも知れません。アンテナの長さを決めるもとなる波長が10km から10m と、ハンディレシーバーが受信するV/UHF の3m から20cm までのものと比べて大きな幅がある長波~短波受信ではディスコーンのように手軽で小さなアンテナ1本あれば…というわけには行かず、遠距離受信には大きなアンテナを条件良く立てることがとても重要になります。とはいえ、いろいろな形状や長さのアンテナが受信専用で市販されていますから、使いやすい物を選んでなるべく建物から離れるように設置するとノイズ対策にもなります。

信号が変わればモードも変わる。オールモードのDX-R8なら何でも来い!

低い周波数では、CW (モールス信号)、SSB、AM が主に使われています。SSB は USB と LSB に分かれますし、ファックスやテレタイプのようなデータ信号もあります。オールモード対応のDX-R8ならこれら全ての電波型式に柔軟に対応、ソフトウェアを使えばデータ通信だって「見えて」しまいます。

データ受信も得意なDX-R8!

DX-R8 の特徴の一つはI/Q 信号と呼ばれる、電波を復調する前の信号に少し手を加えた物を取り出せること。これをパソコンに入力してサウンドカードでプロセス、CPU の力を借りてソフトウェアで操作すれば音声だけでなくデータ通信までデコードすることが可能になります。ここでは代表的なソフトウェアをご紹介します。

• **SDRソフト** : Software Defined Radio Software は周波数、ボリューム調整からモード選択、混信やノイズ除去機能などの復調や音声に関する部分をパソコン側で行なうものです。スペクトラムアナライザーのように、受信可能帯域に出ている電波をウォーターフォールで表示したり、受信中の信号を1周分ではなく帯域丸ごと録音して、その幅を改めて受信し直すことまでできてしまうので人気があります。周波数がずれて表示される、など完全ではありませんがI/Q 信号を使うSDRソフトなら多くのものが DX-R8 に対応します。なかでもKG-S DRは日本のSDRソフトで、DX-R8 を完全サポートする説明書も同梱され、専用ケーブルERW-7 を接続すればこのソフトの全ての機能が使えるようになります。

受信機をお使いになる際の注意点

※本書に掲載の受信機を使うのに免許や資格は不要ですが、知り得た情報を悪用したり、他人に漏らすことは法律により禁止されています。受信した内容の取り扱いには充分配慮してください。※このカタログに「受信できる通信」として例を挙げているものでも、一部デジタル化した地域がある/受信できる電波を使うこともあるがいつもそのように通信しているとは限りません/送信設備から受信場所までの距離が遠い/適切なアンテナを使っていない等の事情や制約から受信ができない場合もありますのでご了承ください。※受信機を女性向け施設・宿泊施設・遊技場の近く等で使用していると盗聴の誤解を受けたり、トラブルにつながる事がありますのでご注意ください。※テーマパーク、遊技場、コンサートホール等で場内に受

• **FAX・NAVTEX (テレタイプ)** : 昔から使われている画像・文字通信モードが今ではパソコンで簡単にデコードできます。気象庁や船舶向けの海岸局が送る気象関連図や通信社の新聞ニュースが読めるFAX、近海の流木や海難事故・軍事演習海域などを航行中の船舶に知らせるNAVTEX や業務通信のテレタイプのデコードにも内外のソフトが複数存在します。

• **DRM デジタル短波放送** : Digital Radio Mondiale とフランス語の放送システムで、従来の中波/短波放送バンドと同じ帯域で行われている、MP3並みの音質でステレオや文字を含んだ放送のことです。欧州が中心ですが、ニュージーランドやロシアといった日本でも聞きやすい放送が存在します。DX-R8 のI/Q 信号出力とフリーソフト、市販の接続ケーブルを使うだけでパソコンからフェージングやノイズが全く無い「これが短波?」という音質クオリティの放送を楽しめます。これらのソフトはサードパーティ製なので、ホームページの移動や名称などの変更に対応できませんからここには記載してませんが、「DRM 受信 DX-R8」でインターネット検索すると情報が得られます。

★ワンポイント★
PC 接続ケーブルは必要?
受信ソフトの使用に当たって必要なパソコン接続ケーブルは、市販の3.5mm φステレオミニプラグが両端ついたもの (サウンドカードによってはRCA プラグが片方に付いたもの) です。弊社オプションのERW-7は、メモリ書き込みの編集に使うユーティリティソフト又は一部のソフトでDX-R8 をリモコンコントロールする時に使う物で、受信ソフトの使用に必ず必要なものではありません。

短波放送の周波数は季節毎に変わる。情報収集は欠かせない!

FM やAM 放送と異なり、季節や時間によって刻々と受信状況が変わる短波放送では周波数や放送開始時間は定期的に見直されることが多いもの。インターネットを使って「短波放送 周波数」のようなキーワードで検索すると放送受信を趣味とするBCL のページやブログがたくさんヒットしますから、新しい情報を上げているページを選んで参考にしましょう。通信の割り当て周波数はほとんど変更が無い代わり、割り当てられている複数の中からその時に応じて最適な物を選んで交信するためメモリ登録してスキャンをかけて待ち受けるのが定番のワッチ方法です。

★ワンポイント★
メモリやスキャンを使いこなそう!
DX-R8 はたくさんの周波数を効率良く聞くための工夫が満載。ボタン一つで周波数を切り替えて聞けるデュアルVFO、携帯電話のアドレス帳感覚で決まったチャンネルを登録しておき呼び出して使う3バンク × 200ch ・合計600ch のメモリ、一定間隔で気になるチャンネルに信号が無いか自動的に聞きに行くプライオリティスキャンといった機能を使いこなせば複数のラジオを操作しているのと同じように効率よいワッチが楽しめます。

低い周波数はノイズや混信との根比べ。妨害対策も万全!

中波や短波は強い放送局の電波や空電ノイズなど、快適な受信の邪魔になる妨害電波が一杯です。DX-R8にはバイクなどが出すパルス性ノイズ除去のノイズブランカー、受信感度を4段階でコントロールして近くに強い電波のカブリを減らすRFゲイン、混信除去に効果があるIFシフト、受信できる帯域を狭くして妨害を減らすナローフィルターと、通信機並みの機能を採用しています。

★ワンポイント★
ラジオとは違う「レシーバー」。
通信型受信機とレシーバーの違いは、送信機と組み合わせて通信に使える機能があるかどうか、といえます。DX-R8は短波帯通信機であるDX-SR9 トランシーバーの受信性能をそのまま受け継ぎ、まさに通信機グレードの受信機ですが、送信機とシンクロさせる機能は持ちません。このため通信型受信機とは呼ばずにデスクトップレシーバーと呼んでいます。[トランジスタ・ラジオのボディ]が大きなだけのも」とは大違いです。例えばSSB受信対応ラジオ、ではBFOと呼ばれる簡易回路を用いた物が主流ですが、DX-R8は通信機と同じフィルターを通した本格的な回路を採用しています。このためデータ通信でもTCXOによる±1ppm の高性能な周波数安定度と相まって、完璧なデコードを実現できるのです。

【ご注意】ここで受信できるとしている無線はすべてアナログ方式で、デジタル方式の無線は受信できません。デジタル化したり運用方法が変わったりすると聞こえなくなることがあります。受信できる無線については、販売店にご相談されるか、最新の専門書籍をお読みください。